

「学びの地図」とリンクした知的障害教育プレゼン教材のデータベース化とWeb公開

科研費
KAKENHI

KEY WORDS

知的障害

プレゼン教材

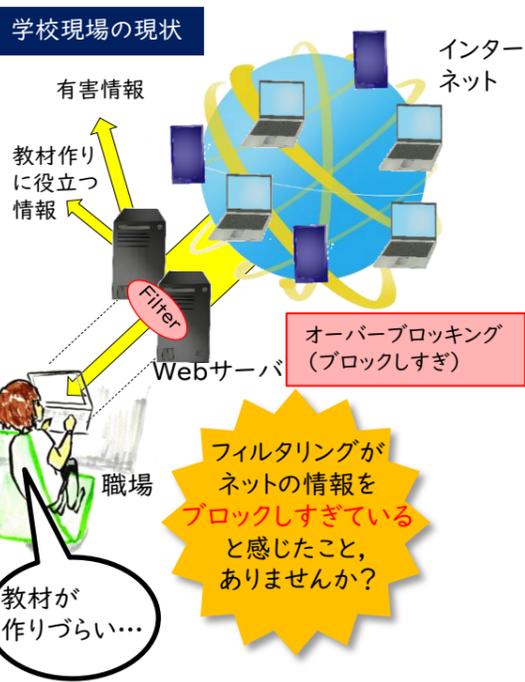
学習指導要領

後藤 匡敬 | Masataka GOTOU
(熊本大学教育学部附属特別支援学校)

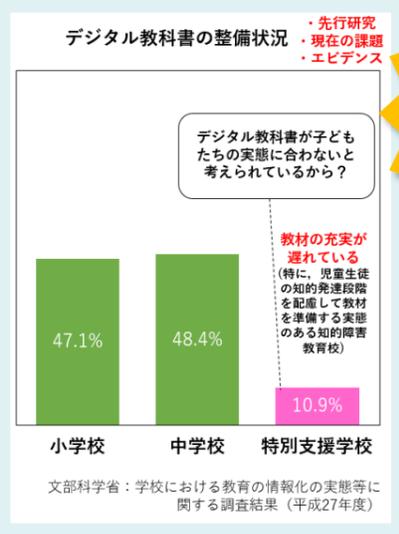
この研究はJSPS科研費(JP19H00150)の助成を受け、実施している。

背景

99.2%の学校が情報フィルタリングを導入している
(文部科学省調査: 学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果 [確定値] H29年度)



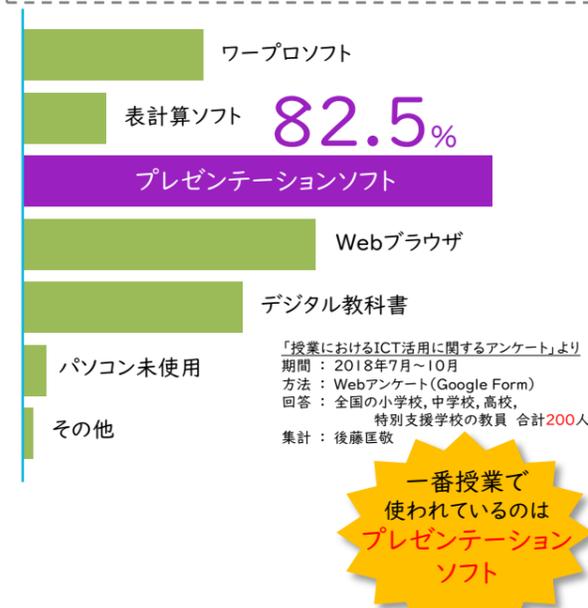
児童生徒で扱う教科書が一人一人異なることが多い
特別支援学校では児童生徒に合わせて**教材を自作**することが多い



同じような教材を一つの学校でそれぞれの先生が作っていることも、教材の共有、できていますか?

いい教材があるのに眠ったものがたくさん...

授業中に活用するソフトウェアを教えてください
(複数回答可)



現場の教員にプレゼン教材を作成するスキルがある

方法・実践

特別支援教育のためのプレゼン教材サイト

Teach U ティーチ・ユー

TU Partsを活用したプレゼン教材

熊本大学教育学部内
で絶賛公開中!

「TeachU」では、プレゼンテーションソフト(PowePoint)で作成した**プレゼン教材**を公開しています。
クリエイティブ・コモンズの条件を守っていただければ、**教育現場にて無料で活用いただけます。**

<https://musashi.educ.kumamoto-u.ac.jp/>

クリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-継承

インターネット時代のための新しい著作権ルールで、作品を公開する作者が『この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。』という意思表示をするためのツール。
クリエイティブ・コモンズ | <https://creativecommons.jp/>

方法1 変更可能なプレゼン教材の蓄積~「何を学ぶか」「どのように学ぶか」

「何を学ぶか」効率よく把握

「どのように学ぶか」を表現

指導内容確認表

内容のつながりが教科毎に分かる

熊本大学教育学部
附属特別支援学校HPで公開中

絵コンテ枠でプレゼン教材の流れを構想

動画で利用イメージを表現

方法2 Web公開のシステムとデータベースの構造の開発

教材DB プラグイン: TablePress

ライブラリ プラグイン: WP Show Posts

WordPress(CMS) テーマ: Lightning

熊本大学教育学部
技術科の協力の
下、
Webサーバ設置

熊本大学教育学部技術科・塚本研究室参加

操作性を重視したインターフェイスのデータベース開発
(開発者: 教育学研究科2年 山田晋子)

様々なデータベースの手法を模索

FileMakerで開発

【主な機能】
教材をナンバリング
教科別表記
想定する段階の記載
ソート機能
検索機能
ハイパーリンク機能
サムネイル表示

方法3 プレゼン教材を活用した授業の実践と検証

誤操作防止
(画面切替オフ+画面左に矢印)

04022[算数]0からならんだ数字(0-99)

00007[自立活動]気持ちの棒グラフ

00006[自立活動]うごく●をさわって30

04025[数学]分解ものさし

生活科(小)と社会科(中)について教材開発, 検証。

教科のプレゼン教材には、1枚目のスライドに想定する学部段階と指導内容の区分や項目を記載

10003[外国語]大文字⇄小文字アルファベット

08001[体育]どっちかな

解説動画を見た利用者の声
これは助かると思います。先日0.1と1の混乱した子どもに物差しを目盛りと本体を分解したと見せかけた教具(画用紙)を使って指導しました。時にその教具はオレンジジュースとなって、1Lと0.1Lつまり1dLとなるのですけど。

プレゼン教材作成の効果的条件

- ①アニメーションの活用
- ②ヒントボタンの活用
- ③動画の挿入
- ④場面展開の補助表示
- ⑤体験的学習を促すスライドの追加
- ⑥発問を同時に2つ行わない

日本教育情報化振興会
「ICT夢コンテスト2019」優良賞受賞内定!
PowerPoint教材を簡単機能拡張!「TU Parts」

既存教材 + TU Parts → 新しい教材

コピーして貼り付けるだけで従来のプレゼン教材に機能を追加できるPowerPoint 既立ち製品

TU Parts

課題
プレゼン教材を公開しただけでは、うまく活用されにくい

Webページのアクセス解析より

- ①汎用性の高い教材はダウンロード数が高い傾向
- ②解説動画のページはアクセス数が高い傾向

面倒な設定を覚えなくても
様々な機能が使用可能に

プレゼン教材活用の
研修プログラムを開発

共同研究者
熊本大学大学院教育学研究科
塚本光夫 教授 のコメント

多くの教材サイトでは、様々な教材が掲載されているものの、多種多様なものが混在しているのが実情である。本研究では一定のルールの基にデジタル教材を制作することとしており、操作性は統一されている。しかも現場教員がダウンロードしてすぐに利用できるようになっており、無料でしかも**変更が可能**となっている。このような仕掛けは多くの教員にとって**待望のもの**といえよう。